

6. 算術単位などの解説

dB	dB（デシベル）は、電気工学や音響工学などの分野で使用される無次元の単位。音の強さ（音圧レベル）などを表すのに使用される。
GJ, Gcal, TJ	いずれもエネルギーの単位。1J（ジュール）は約 0.2389cal（カロリー）である。G（ギガ）は 10 の 9 乗（10 億）を示す接頭語の略、T（テラ）は 10 の 12 乗（1 兆）を示す接頭語の略。
Lden	航空機騒音の環境基準の WECPNL に代わり平成 25 年（2013 年）4 月 1 日から新たに導入した評価指標。ある時間内で変動する騒音レベルのエネルギーに着目した評価手法である「等価騒音レベル」を基本とした評価手法の 1 つで、1 日を昼間（day）、夕方（evening）、夜間（night）の時間帯に分け、夕方の騒音、夜間の騒音に重み付けしたうえで 1 日の等価騒音レベルを評価する。単位はデシベル（dB）が用いられる。
ppm	濃度を示す単位。parts per million の略。100 万分の 1 を基準とする割合の単位（100 万分率）のこと。
pg-TEQ	ダイオキシン類の環境濃度を表す単位。p（ピコ）は、pico-（=1 兆分の 1）の意を表す接頭語の略で、pg（ピコグラム）は、1 兆分の 1g、TEQ は「毒性等量（toxic equivalents）」を表す。
t-CO ₂	二酸化炭素の排出量をトン（t）単位で表したものの。
WECPNL（うるささ指数）	航空機の離発着に伴う騒音の強度、頻度、発生回数などの諸要素を考慮して算定された指数で、うるささを評価するもの。Weighted Equivalent Continuous Perceived Noise Level の略。日本語では「加重等価平均感覚騒音レベル」または「うるささ指数」などと呼ばれている。平成 25 年（2013 年）3 月 31 日までの航空機騒音の環境基準評価指標。